

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(幡羅小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
幡羅小	上回った	下回った	上回った	上回った	上回った	上回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
幡羅小	5-B	6-B	7-B	5-C	5-B	6-B
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
幡羅小		4	0		3	3
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
	質 問 事 項	幡羅小	埼玉県	幡羅小	埼玉県	幡羅小	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	94.4	90.6	94.4	88.5	94.8	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	71.3	78.6	78.8	77.0	80.6	77.4
	・自分からはっきり挨拶をすることができている	86.3	81.5	85.9	82.0	94.8	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	80	77.8	71.9	80.7	96.4	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができている	85	85.5	85.9	86.9	93.5	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	68.8	54.2	52.2	49.2	61.1	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	53.9	52.8	56.3	54.0	58.5	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	77.6	75.6	80.3	76.0	84.4	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	28.8	36.6	35.2	67.4	37.7	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	79.3	73.5	70.5	70.5	79.3	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	81.3	78.6	62	74.1	75.4	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	77.5	75.9	83.1	79.8	92.2	80.3
	・国語や算数の授業で、週1～2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	52.6	45.1	36.6	48.9	54	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	45.1	21.6	42.3	24.5	44.2	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	92.6	94.2	95.7	94.8	100	94.8
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	78.8	85.3	87.3	90.0	92.2	92.4
	・学級での生活は楽しい	96.3	94.4	91.6	92.8	99.1	92.3

【質問紙分析】

- ・昨年に引き続き、「先生が自分のよいところをしっかりと見つけてくれている」や、「難しいことに失敗をおそれずに挑戦している」の項目は県の平均より高かったことから、日頃の温かいかわりや、挑戦を応援する学校やクラスの雰囲気が子どもたちの安心につながり、自分の力をのびのびと発揮できる環境が整っていることがうかがえます。
- ・「国語や算数の授業でタブレットを週2回以上つかっている」と答えた子が県平均より低いのは、タブレットを使って考えを整理したり、学びを深めたりする授業がまだ十分に広がっていないことが考えられる。今後は、より自然にタブレットを学習の中で活用できるように職員研修の時間を設けていきます。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・伸びが見られた学級(算数)では、児童自身が「自分でやってみよう」とする気持ちを大切にしながら、友達と交流したり教え合ったりする時間を意図的に取り入れていました。こうした活動を通して、一人一人が理解を深めるだけでなく、友達と学び合う楽しさや安心感を得ることができたことも、学力向上につながったと考えられます。
- ・伸びの見られた学級では、国語の読み取りでは登場人物の気持ちにサイドラインを引き、言葉の意味について教師と確かめながら理解を深めていた。算数では、児童のつまづきを丁寧に見とり、基礎基本が身に付くように繰り返し支援していたことが、学習の定着につながっていました。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・4年生では、自分の考えを言葉で表現する力や学習の方法を状況に応じて、柔軟に変えていく力に課題が見られたため、友達との対話や振り返り活動を通して自分の考えを整理して伝える学習に取り組むとともに、キーワードを書き出してから文章にまとめるなど考えを言葉にしやすくする手だてを取り入れながら、表現力の向上を図っていきます。
- ・5年生では学習の見通しを立てて進める力や、自分で考えて調べる力に課題があります。また、国語の記述時間の短さや学習規律、安心して発言できる雰囲気にも課題があったため、ポイントになるところを丁寧に指導し、文章の型を活用して書く内容を整理したり、ペアや小グループで話し合いの手順を分かりやすく示したりするなど、意見を出しやすい工夫を取り入れながら、学力向上を図っていきます。
- ・6年生では、学習の進め方がつかみにくかったり、計算で細かいミスが出やすかったり、気持ちの切り替えや強さなどの面に課題が見られたため、見通しをもって学習に取り組めるように手順を示したり、学習の様子を振り返って自分の学力の伸びを実感できる活動を取り入れながら、学びの質を高めていきます。